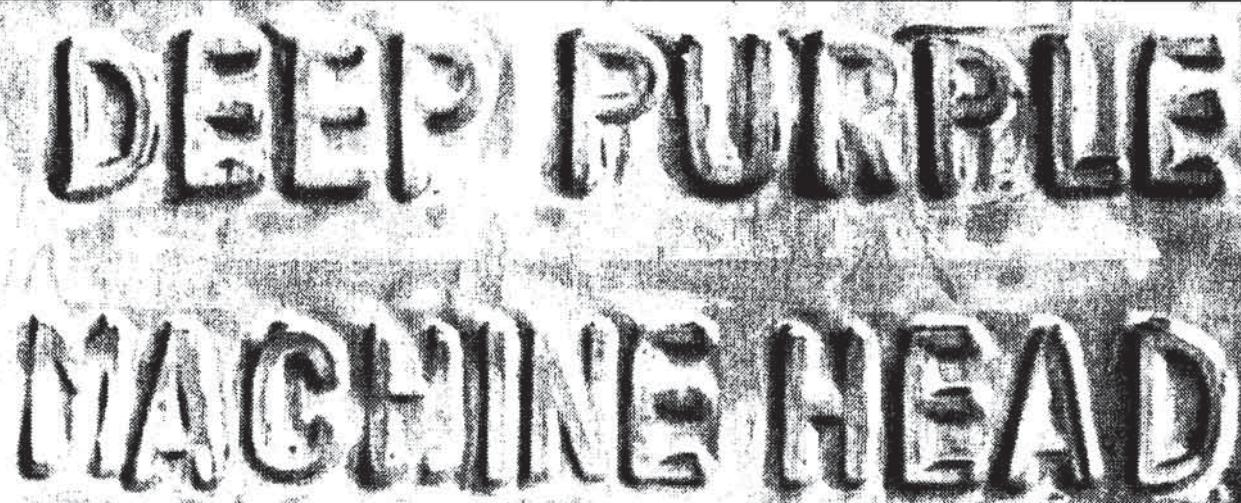


CONTENTS



HIGHWAY STAR	ハイウェイ・スター	3
MAYBE I'M A LEO	メイビー・アイム・ア・レオ	22
PICTURES OF HOME	ピクチャーズ・オブ・ホーム	32
NEVER BEFORE	ネヴァー・ビフォア	49
SMOKE ON THE WATER	スモーク・オン・ザ・ウォーター	60
LAZY	レイジー	71
SPACE TRUCKIN'	スペース・トラッキン'	100

It shall be unlawful to publish, sell, or distribute this copy outside of Japan.

HIGHWAY STAR

Words & Music by R.Blackmore, I.Gillan, R.Glover, J.Lord & I.Paice

発表当時から数々のロック・ギター教則本に取り上げられ、今なお上達のための必須曲としてギター・キッズなら避けて通ることのできない、言わずと知れた名曲「ハイウェイ・スター」。全体的な注意点は、何といってもスピード感だろう。高速道路を突っ走る様子を体で感じて、速い8ビートが失速しないようメンバー全員が心掛けるように。E.ギターのポイントは、ミュート気味のダウン・ピッキング。図、□など、パッキング・パターンはほとんど右手でブリッジ・ミュートをし、8分音符は全てダウン・ピッキングでプレイする。□で時折出てくる16分音符はアップ・ピッキングだ。□からのギター・ソロではチョーク・アップ&ダウンのタイミングに気を付けたい。ゆっくり上げるのが速く下げる

のか、といったタイミングによってフレーズのノリが変わってくるからだ。レコードをよく聴き、ニュアンスをつかんでもらいたい。また団の速弾きでは右手と左手が合うよう、まず最初は $\frac{1}{16}$ くらいの遅いテンポで練習し、それが確実にこなせるようになってから徐々に速めていくように。このようなピッキングでは手首を固めて、ヒジから下全体の上下動でやってみると案外やりやすいこともある。オルガン・ソロの団の部分では、ハモリのパートがオーバー・ダビングされている。ライブではどちらかひとつを弾けばよい。ドラムとベースは、特に団のシンコペーションに注意したい。シンコペーション直後の2・4拍のタイミングがズレないよう、しっかりとリズムをキープしてプレイしよう。

Intro

Vocal: G, C, F(on G), C(on G), F(on G), G, F(on G)

Other: C

Keyboard: C, F(on G) (labeled < E. Organ >), C, C, F(on G) (labeled < E. Guitar 1 >), C

Guitar: Chords: X, * (3 4 5), 1 2 3, 1 2 3, 1 2 3, 1 2 3

Bass: T 0 0, 0, 0 12, 12, 0

Drums: Z, Z, Z, Z, Z, Z